

# 羽ばたけ 未来へ

村初のプロ野球選手となった東北楽天ゴールデンイーグルスの銀次選手。プロ2年目となった昨年は、2軍戦に出場する機会も増え、打率も3割を超えるなど好成績を収めました。一方、世界で活躍するスポーツ選手を育成する「いわてスーパーキッズ発掘育成事業」の78人の中に選ばれた、普代小6年の道下明賢君と佐々木愛莉香さん。それぞれが普代の地で恵まれた才能を生かし努力を重ね、夢の扉を開けようとしています。今、新たな一步を踏みだし未来へ羽ばたく3人に、今年の目標などを聞きました。(聞き手広報ふだい)

## ●東北楽天ゴールデンイーグルス 銀次選手 (19)



赤見内銀次 (あかみない・ぎんじ) 06年ドラフト会議で東北楽天ゴールデンイーグルスから3順位指名を受け入団。今年3年目を迎える。小学3年から普代スポーツ少年団で野球を始め、普代中一盛岡中央高校へ進学。高校通算打率3割7分8厘、24本塁打。173㍎、78㍎。右投げ左打ち。

# 今年が勝負の年

プロ野球、東北楽天ゴールデンイーグルスの銀次選手。プロ入り2年目の昨年は2軍戦30試合に出場し、3割4分1厘、1ホームランの高打率。「出場機会を増やして、経験を積むという目標は達成できた」と手応えを感じた様子。今季は休み返上で練習に臨む銀次選手に、昨年を振り返りながら、3年目の目標を聞きました。

「昨年を振り返っての感想は。一言でいうと「慣れた」という感じですね。試合の雰囲気や流れ、プロの生活に慣れたという感じ。スタメンでマスクもかぶりました。代打での途中出場などどうして試合感がつかめないのか、その点では昨年より学ぶことが多かったと思います。九州で行われたフェニックス

スリーグでも、昨年より良い成績が残せました。何よりけがをしないで1年通せたので良かったです。試合の中の課題は。キャッチャーで先発するとき、いろいろ考えなければなりません。ベンチには対戦相手のバッターのデータがあり、常にどんな配球をしたら相手バッターを抑えられるかを考えています。

味方ピッチャーが調子が悪いときもあります。そのときはどんなリードをして、どう声を掛けて立ち直らせるか自分にかかってきます。プロのキャッチャーというポジションは試合を組み立てるという重要な役割もあり大変です。今まで一番勉強しているかもしれませんね。(笑い)  
「プロ3年目を迎える今年の目標は。今はオフシーズンですが、仙台の練習場にほぼ毎日通って、自主トレーニングしています。みんなに負けたくないと思ったら練習しかなかったですからね。」  
シーズン後半、同期が1軍に上がってベンチに入ったので、正直悔しさもあります。今年が勝負の年ですね。目標は、1軍に上がることです。そして結果を出し、みんなの期待に応えられるよう頑張るだけです。」  
2月1日からは3年目の沖縄県・久米島キャンプに臨む銀次選手。手応えを感じた昨年をステップに、今季に懸けます。

## ●スーパーキッズ 道下 明賢君 (12)



好きな言葉は「油断大敵」。好きな食べ物は焼肉の牛タンと桃。160㍎、45㍎。

世界で活躍するスポーツ選手輩出を目指す「いわてスーパーキッズ発掘育成事業」(県体協・県教委主催)に普代小6年の道下明賢君と佐々木愛莉香さんが選ばれました。県内の小学5、6年生は約2万5千人。スーパーキッズはその中で20歳走や垂直跳びなど5種目の体力測定し、最終の3次選考の実技と保護者が交えた面談を行った結果78人が認定されました。今後は五輪選手などトップ

アスリート輩出を目指して月1、2回の「スペシャルスクール」を開催。小学6年生は中学

1年生までの期間で身体能力やコミュニケーション能力向上などのトレーニングを行う

「12月16日のスペシャルスクールに参加した感想は。道下「毎日練習していればいい結果が出る」とか、参考になる話をたくさん聞けました。」  
佐々木 頭を使ったゲームなどをして楽しかったです。交流会では野田村や山田町の人など、友達もたくさんできました。」  
「今後はどういうことを頑張りたいですか。」  
道下 今、家で柔軟体操をしたり、家の近くを走ったりしています。それを続けながらいろんなことを頑張りたいです。そして来年の3月までスクールを休まないように頑張って、たくさんの人と交流したいです。」  
佐々木 家ではストレッチ体操を欠かさずやって、体を柔らかくしています。もっと体力をつけられるように頑張りたいです。そしてたくさん友達もつくりたいです。」

# たくさん交流したい 道下君 体力づくりを目標に 佐々木さん

## ●スーパーキッズ 佐々木愛莉香さん (12)



好きな言葉は「我が身をつねって人の痛さを知れ」。好きな食べ物はイチゴ。154㍎、37㍎。

予定です。難関を突破し晴れて「スーパーキッズ」となった2人にインタビューしました。  
「決まったときの感想は。道下君 受かると思っていたので、うれしかったです。佐々木さん 学校みんなが応援してくれたから、頑張ってた受かって良かったです。」

盛岡市まで移動しての研修は大変だと思いますが、応援していますので頑張ってください。」